

## 日本自治学会 全員参加型の最終総会のご案内

会長・山口二郎

来たる5月15日(土)に、日本自治学会の最後の総会を開き、活動を総括します。会場は東京・市ヶ谷の法政大学です。参加者全員による、忌憚のない意見交換で締めくくりたいと思います。みなさまのご参加を心からお待ち申し上げます。

地方分権一括法が2000年に施行されたのに合わせて、さらなる改革を進めてゆくために幅広く英知を結集しようと学会を立ち上げてから、すでに20年が過ぎました。

一括法が築いた分権改革のベース・キャンプから、地方自治を真にそれにふさわしい実質を備えたものに育て鍛え上げていくことをめざし、行政法、行政学、財政学など学界の研究者、さらにはジャーナリストたちを中核に全国各地で活動してきました。

分権改革は、現下の通常国会に第11次の一括法が提出されるなど、いままも続いています。しかし、その内実は乏しく、足踏み状態にも見えます。この時点で学会を閉じることには忸怩たる思いもございますが、20年をひとつの節目として、いったん幕を引き、新たな展開を模索することといたします。

最後の討論は、当学会らしく、会場の全員が語りあう場になることを期待しています。

○日時 2021年5月15日(土曜) 午後1時半～4時半

○会場 法政大学・市ヶ谷キャンパスゲート棟 G201 教室

[キャンパスマップ](#) :: [法政大学 市ヶ谷キャンパス \(hosei.ac.jp\)](#) の2のビルです。

○基調講演 「分権改革の現在地」 新藤宗幸・千葉大名誉教授

○全員討論

歴代の会長や企画委員長をはじめ、発言を希望するみなさま (司会・山口二郎)

主なテーマ

①分権改革の到達点 ②日本自治学会の果たした役割と研究成果

③今後の研究者やジャーナリストの課題 ④その他、会員からの提案

会場にマイクを回しますので、自由に、ぜひ、ご意見を開陳してください。

コロナ禍で会場を使えない場合は、ズーム開催を検討しますので、参加希望者は事前にメールアドレスを事務局([jichigakkai@gyosei.co.jp](mailto:jichigakkai@gyosei.co.jp))にお伝えください。

開催方法の確認はホームページか、事務局(03-6892-6996)まで。